「高等学校改革プランに関する意見募集」について

高 校 教 育 課

１．高等学校改革プランに関する意見募集

・実施期間　　平成１７年１２月２２日（木）～平成１８年1月１０日（火）

・提出件数　　４７０件　（郵便：２４５件、ＦＡＸ：１４０件、電子メール：８５件）
（県内：３６９件、県外：１０１件）

・内　　容　　高等学校改革プランの実施計画策定に向け、長野県教育委員会が高等学校改革プラン推進委員会に提示した「県立高校再編整備候補案」に対するご提案、ご意見などを募集したところ、４７０件のご意見をいただきました。

建設的なご提案のほかに、高校改革の実施や県立高校再編整備候補案などに対する賛成、反対意見など数多くのご意見をいただきました。

その中でも、個別の学校の存続を求める要望や統合に反対するものが多くを占めました。

２．提出件数

総　数	内　　訳
４７０件	高校改革に賛成の意見：２２件 高校改革に関する提案及び対案：４５件 高校改革に反対の意見：４０件 個別の学校に関する存続要望及び統合反対の意見：３６３件

３．主な提案・意見等の要旨

○高校改革（実施について・候補案など）に賛成の意見【２２件】

・統廃合は望ましいと考える。各校が魅力づくりに邁進していってもらいたい。
・少子化を直視すれば現在の高校数を維持していくことは困難。統合して規模を大きくすることは教育効果、経済効果の点からも良い。
・高校はある一定規模が必要。これから学ぶ生徒のために早急な改革を進めて欲しい。
・生徒数に見合った高校数にすることは絶対に必要。現状を維持して県民の負担を強いることは納税者として許容できない。
・生徒数が減ったら高校も減らすのは当然。民間の厳しさを知るべき。
・県財政を考えると再編統合はやむを得ない。新たな魅力づくりに期待する。
・これを期に魅力ある高校についてみんなで考えていきたい。
・学級減ではもはや限界。できるだけ早く改善を図っていくことが県教委の責任。
・早急に進めてほしい。時間をかけるほうが直面している子供達を迷わせ傷つける。
・どのような再編になるにしても、各校のこれまでの良い面を継承して欲しい。
・同窓会、地域の反対は当然あるが、断固実行してもらいたい。

○高校改革（実施について・候補案など）に関する提案及び対案【４５件】

・再編整備対象校は、推進委員会の結論を尊重して県が主体性をもって決定する。
・地域の合意が得られたところから段階的に進める。後は自然に流れができる。
・統合して今まで以上に魅力ある学校にする。その為に何が出来るのかを検討する。
・統合により学力差が生じた場合は、教職員定数・少人数学級などに配慮する。
・統合する場合は、校名は変更して新しく出発する。
・不便なところにある学校は全寮制にする。全国募集する。
・基本的には平成 19 年度一斉実施する。
・飯山地区の再編整備は、平成 25 年（9 学級）までは、飯山照丘と飯山南のみを統合（飯山南の校地校舎利用）して３校を維持し、9 学級を下回るころに２校にする。
・飯山照丘、飯山南、飯山北は統合して新たな学校としてスタートする。（新高校に専攻科を設置する。）
・中野市内の３校を１校に統合する。
・須坂商業も須坂東、須坂園芸との再編を視野に入れて前向きに考えていく。
・中条、犀峡の統合は自然の流れ、２校廃校も選択肢。その場合、遠距離通学者への経済的負担軽減措置が必要。
・長野市内で統廃合を行う場合は、長野市中心部か須坂市で行う。
・長野南と松代の統合後の校名を長野松代高校とする。
・長野南と篠ノ井を統廃合の対象とすべき。
・多部制・単位制高校の候補として篠ノ井が最適である。
・屋代南を廃止し、家庭科は長野市内校に移設する。
・多部制・単位制高校を坂城に設置するのは偏っているので、須坂地区と篠ノ井・屋代地区に最低２校設置する。
・多部制・単位制高校は、交通の便から幹線に近く、定時制のある小諸商業の方が良い。
・第８区から１校減らす必要があるならば、最後につくられた松川高校から廃止するのが最も妥当。
・木曽と木曽山林を統合する場合、普職比は３対１～２対１にする。また、職業科は少人数によるコースや特別編成が必要。また、定時制は、昼間、夜間部を併置する。
・白馬を村立（白馬村教育委員会が運営）とし、住民が中心になって構成する評議委員会で総理する。
・大町北と白馬の統合が妥当。（平成 25 年までは、白馬高校を大町北の分校とする。）通学が困難な場合は、寄宿舎の建設や下宿への助成を考える。

○高校改革（実施について・候補案など）に反対の意見【４０件】

・統廃合により、高校の数が減ることに反対である。
・県立高校再編整備候補案の白紙撤回と拙速な高校再編の断行延期を提案する。
・統合に納得できない。これまで（市内に）２校あるからこそ生きがいを見いだすことができた生徒も多い。現状維持がベターであり、統合する必要性は全くない。
・それぞれ学校はさまざまな工夫により、活力と魅力ある高校を目指して努力している。統合して新たな学校とする案に反対。

・拙速に結論を出すことなく、もう少し時間をかけて県民の声を十分反映させてから、結論を出すべきである。
・生徒数は今後横ばいの状況なので、今後数年間は現状のままとし、十分な話し合いを深めた上で進めるべき。
・1～2 年の議論を重ねれば何らかの方向が出るはず。それからでも遅くない。
・平成 19 年度に一斉実施を目指すスケジュールは先延ばしすべきである。定員割れとなってからで良い。
・他県の先行例を参考にし、多くの県民が同意できるよう、段階的に再編整備を進めてほしい。
・説明会を開いて、再編整備のメリット・デメリットを説明して欲しい。
・地域の実情を考慮した高校改革であるべきで、伝統を皆無にする改編は反対、将来を見据えた再編計画立案を願う。
・高校再編は数字や効率だけでは決められない。
・統廃合論議（数減らし）に終始していて教育のことが考えられていない。より多くの人の納得を得られるようなやり方に転換すべき。
・無理に拙速に変革しても良い結果は得られない。多部制・単位制についても研究する時間と納得のための時間が必要。
・生徒達は現在の定時制・通信制に満足している。それだけで定時制の意義は十分にあるので当面存続すべきである。
・生徒数が減少するなら、定員を減らせば良い。
・子供が減らないのに学校が減ればますます受験戦争に巻き込まれてしまう。
・高校の数を減らす前に、少子化対策に取り組むべき。
・まずは３０人学級の導入が必要。
・町には歴史があり、高校も１００年の歴史を数え、地域との結びつきも強い。是非この地に高校を存続してもらいたい。

○個別の学校に関する存続要望及び統合反対の意見【３６３件】

松代の統合	２５３件
大町と大町北の統合	３８件
岡谷東と岡谷南の統合	１４件
野沢南の多部制・単位制への転換	１３件
望月の統合	７件
定時制の統合	４件
長野南の統合	４件
木曽山林の統合	４件
松代と長野南の統合	４件
その他の高校の統合等	２２件